

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	29	上田 高等学校	全 課程	普通 科
----------	----	------------	---------	---------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
平和的な国家・社会の形成者として、真理と正義を愛し、個性ゆたかな自主的精神に満ちた資質を養う。	1 学校における諸活動を通して、自ら考え行動する、自律性、主体性を身に付ける。 2 他者と協働する活動の中で、互いの生き方・考え方を尊重し、多様性を受容する態度を養う。 3 課題研究やフィールドワーク等の活動を通して、日本や社会における自らの役割を考え動く、行動力を身に付ける 4 すべての生徒が安心して過ごすことができる学校環境を整え、いじめや体罰は決して許さないという心を育てる。
重点目標	
1 個性の伸長と進路希望実現のための支援 2 「主体的な学び」の推進と豊かな感性・高い志の熟成 3 いじめ・体罰のない安全・安心な学校づくり 4 保護者・地域との協働による開かれた学校づくり 5 新しい時代に向けた、将来ビジョンの検討	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	高校生活に早く適応させ、規則正しい生活習慣を確立させる。そして、様々な行事に積極的に参加させ、仲間との協働作業の大切さを体験させる。さらに国際交流を介し、日本と世界の相違についても知識を深めさせる。	将来について考える中で、自分の特徴や長所などの自己理解を深め、今後の進路選択に生かしていく。 ○東京見学会 ○県内フィールドワーク ○文理選択	文化祭活動、クラスマッチ、係や委員会活動を仲間や先輩や職員と共に取り組むことで、人間としての在り方や生き方について考えるさせる機会を提供する。	より自立的な活動を通して、自分たちでやり遂げる達成感を知り、来年の運営に向けて自分たちで考え行動していく態度を養う。 ○クラブ活動 ○生徒会 ○文化祭	国語	言葉を通して思考力・想像力を養い、他者と関わる中で伝え合う力を高め、道徳的心情や判断力を育む。
2 年	自ら考え、自立・自律的に動く行動力を養うとともに、他者の気持ちを考える想像力を持って他者と協働する精神を養うことで、自分と他者の人権を尊重する態度を育む。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組ませる。 ○GS課題研究 ○首都圏FW ○台湾研修旅行	仲間と協力しあって活動していく中で、互いを認め合うとともに、集団の中における自らの役割を見つけ、それを果たしていく態度を養う。 ○合唱コンクール ○人権学習	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付けさせる。 ○クラブ活動 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営	地理歴史	学習を通して、異なる意見や考え方があることを認識させる。
3 年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付けさせる。	よりよい社会の実現を意識しながら、卒業後の進路実現に向けて、主体的に学び、準備していく。 ○進路探求 ○体験学習	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動させる。 ○合唱コンクール ○人権学習	本校生としてのみならず、社会の一員であるという自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けて取り組んでいく態度を養う。 ○生徒会の運営 ○文化祭の企画・運営 ○ボランティア活動	公民	学習を通して、異なる意見や考え方があることを認識させる。
					数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、事象を数学的に考察する能力を高め、積極的に活用する態度・感性を養う。
					理科	科学技術の進歩とそれに伴う倫理的問題について取り扱い、人類の幸福な発展について考える。
					保健体育	体育や保健の学習内容を理解させ、学習の過程を通して、ルールを守る心や、一人一人の違いを大切にする態度を養う。
					芸術	各単元終了の発表段階（作品・演奏）にて、お互いの表現を見聞きし合う事によって他者の理解・自己の表現を学ぶ。
					外国語	外国語の学習を通して、多様な価値観や異文化を受容し尊重する心を育てる。コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を育み、国際社会の一員としての自覚と世界の平和を希求する態度を養う。
					家庭	家庭や地域社会の一員として自覚をもち、生活の中の課題を発見し、解決できる実践的な能力を育成する。
					情報	情報社会で適正な活動を行うための基になる情報モラルとマナーを身に付ける。SNSなどの特徴を理解し、適切に利用する。
					総合的な探究の時間	
						国際社会における日本の役割を考える。

家庭・地域との連携	・地域に開かれた学校として、地域と関わる活動を通して、生徒がこれからの地域を主体的に創造していく資質・能力を養う。 ・家族と連携して、生徒の個性を多角的に捉えることで、生徒が自己を尊重する心を養い、すべての人の人権が守られる社会の構成者としての自覚を育む。
-----------	---